



女子卓球部 部長 message



私たち女子卓球部は、少人数ながらもお互いに切磋琢磨して温かい雰囲気の中で練習に取り組んできました。先輩方や後輩の皆さん、指導してくださいましたOB・OGの方々や先生方の支えがあって私たちは最後まで部活動を続けることができたと思っています。後輩の皆さん、周りの方々への感謝を忘れず、これからも頑張ってください。(3年4組 大呂 真央)

卓球

女子卓球部 保護者 message

中学生の時はソフトテニス部だった子が卓球部に入るといことで、似たような球技ですが不安はあったと思います。ですが、先輩や仲間達に支えられ充実した高校生活を送ることが出来たようです。まさかウチの子が部長を任されることになるとは思っていませんでしたが、しっかりと役目を全うできようと思います。学業・部活共に充実出来たことを、先生方・部の先輩方・部員の皆様へ感謝すると共に、本人へも良く頑張ったと誉めてやりたいと思います。(保護者 大呂 高広)



男子卓球部 部長 message



卓球部は学年に関係なく仲が良く、そんな環境の中でインターハイ出場を目標に活動してきて一番思うことは、3年間仲間と頑張ってきた大会は無くなってしまいましたが、先生方やコーチの方々など、お世話になった方々への感謝を忘れず、新しい目標に向かい努力し続けようと思います。(3年7組 岸本 康汰)

男子卓球部 保護者 message

「俺、東高に行く。」息子は中学3年生の高校見学の際、部活の先輩との出会いにより東高の受験を決めました。試合となれば、OB・OGが集合され、団体戦では手に汗を握り大声援。体育館中響く声援に、東高卓球部の絆を体感しました。部員の皆さん、顧問の先生方や指導者さんなど、出会った人への感謝を胸に、それぞれ次の目標へと頑張ろう。ずっとずっと応援しています。(保護者 岸本 さとみ)



男子ソフトテニス部 部長 message



ぼくたち男子ソフトテニス部は、昨年に続いてインターハイ出場を目標に日々努力してきました。このようなかたちで目標が達成できなかったことは、一番悔しくて残念な気持ちでいっぱいですが、しかし、ここまでソフトテニスをやってこれたのは、送り迎えをしてくれた親や、一緒にプレーした仲間が存在があったからこそなので、感謝したいです。(3年3組 國本 凌)

男子ソフトテニス部 保護者 message

インターハイ中止...ただただ悔しいです。突然目標を見失ってしまい、悔しい思いは、皆の方が強いはずですが、でも、今迄汗を流し、練習に打ち込んできた自分たちの姿を忘れないでください。その熱い姿を見て、私達は感動をもらいました。本当にありがとう。君達を誇りに思っています。そして先生方、御指導ありがとうございました。(保護者 國本 美由紀)



女子ソフトテニス部 部長 message



私は団体戦で中国大会、個人戦でインターハイ出場を目標に日々努力してきました。毎日みんなで団結して活動してきましたが、このような形で引退してしまうことは悔しく、残念に思います。しかし、この3年間で私はプレイヤーとしてだけではなく人間としても成長することができました。先生方、保護者、関係者の方々本当にありがとうございました。部員のみんななど過ごした毎日は私の一生の宝物です。(3年3組 山下 優羽)

女子ソフトテニス部 保護者 message

今年、新型コロナの影響によりインターハイ中止になってしまった事は子どもの成長を強く願う我々保護者にとっても大変大きな出来事となりました。一生懸命努力を重ねた部員の皆さんに心からの称賛を送りたい気持ちでいっぱいですが、また、我々以上に部員に寄り添って頂いた顧問の先生方に感謝しております。長い人生において部活で培った精神は今後大きな糧となる。我々はずっと味方です。(保護者 山下 誠司)

ソフトテニス





女子ボート部 部長 message



私達は先輩方が残された素晴らしい記録を越えられるような結果を残すことが目標でした。しかし、なかなか結果を残せず悔しい思いをしてきました。そんな中でつらい練習を乗り越えられたのは、仲間が存在があったからです。コロナで大会が中止になりましたが、今までの努力は無駄ではないし、何よりも仲間に出会えたこと、感謝しています。(3年7組 大原 夏花)

男子ボート部 部長 message



「全国高等学校総合体育大会中止」それはあまりにも悲しすぎる知らせでした。僕たちはインターハイに出場するという目標を胸に、毎日の厳しい練習を仲間と共に切磋琢磨して自分自身を高めてきました。練習の成果を十分に発揮する機会は失いましたが、このかけがえない青春は一生僕の人生の糧になると思います。家族、先生方大変お世話になりました。(3年5組 廣谷 颯己)

女子ボート部 保護者 message

合格発表に胸を躍らせたのもついこの間のように感じますが、今日まで勉強と部活動を両立させ一生懸命取り組んでこられたことと思います。部活動で得た友情や、大会に向けて努力したこと、経験は社会人になってから大いに役立つことでしょう。これからも努力を惜みず、一日一日を大切にすごしてほしいと思います。(保護者 大原 千恵)



男子ボート部 保護者 message

今年に入り新型コロナウイルス感染症が流行り始め、感染拡大を考慮してインターハイが中止になりました。ボート部に限らずインターハイを一つの節目と考えてきた生徒もたくさんいると思います。しかし、この決定はみんなの夢を奪うことではないと思います。3年間の部活動で仲間とともに汗や涙を流してきたことは、大切な財産だと思います。今は辛い気持ちでいっぱいだと思うけど、仲間と乗り越えて今しかできない思い出をたくさんつくってください。(保護者 廣谷 一紀)



男子テニス部 部長 message



私たちテニス部は、部全体としては春と秋の県大会団体戦優勝を目標にし、個人では各々が目標を持ち日々の練習を頑張ってきました。テニス部では「テニスを楽しむ」という事を一番大切にしてきました。そのため自由度が高い分、落ちつきが足りないと思う事もありますが、それぞれがテニス自体を楽しめた良い思い出になったと思います。(3年7組 尾崎 海斗)

男子テニス部 保護者 message

勉強に部活にハードな生活、やっていけるのか不安でした。しかし、勉強、日々の練習、合宿、遠征などハードながら両立が出来ている子どもを見て、たくましく成長した事に安心しました。今年は新型コロナウイルスの影響で中止になった試合もありますが、3年間色々葛藤しながら、頑張った仲間と学んだ事は、これから先も、大切な宝物になると思います。(保護者)



女子テニス部 部長 message



私は先輩、後輩、そして同級生に恵まれて楽しく部活動をする事ができました。とても人数が多いこともあり、正直大変なこともたくさんあったけど、側で支えてくれたり協力してくれたりする部員全員のおかげで部活動を最後まで終えることができました。改めて感じた仲間の大切さを胸にこれからの生活に活かしていきたいです。(3年1組 茂木 梨花)

女子テニス部 保護者 message

コートの中の真剣な眼差しやお互いに励まし合いながら戦っている姿。仲間や先生と過ごす穏やかな表情。そんな子ども達を応援し、喜びや悔しい思いを共有出来た事は親としても幸せな時間でした。様々な悩みを抱えながらも最後まで続ける事が出来たのは支えてくれた仲間や指導いただいた先生方のお陰だと感謝でいっぱいです。出会いに恵まれた3年間をありがとうございました。(保護者 茂木 まき)





英語部 部長message

「部活に懸けた思い」となると大袈裟になってしまうのだが、少しでも英語が喋れるようになると、3年間努めたことは自信をもって言える。特に、大会に向けた英語のディベート練習は、毎回得るものが多く濃い時間だった。これは紛れもなく、かけがえのない部員、御指導してくださった先生、ALTのおかげであると思う。今まで、本当にありがとうございました。(3年4組 竹中 慶太)

英語部 保護者message

英語部は14名、1日1時間位×週3回、20歳代の先生と一緒に活動しつつ、ディベートの全国大会にも参加するなんて凄いですね！試しに部長(竹中慶太)が聞かせてくれた自己紹介は「?」だったけれど、楽しそうなクラブ…ジョン先生ありがとうございます。きっと役に立ちますし、頑張った思い出を大切にしてください。(保護者 竹中 君夫)

英語



家庭部 部長message

週1回の活動の中で、毎回お菓子を作ったり、手芸をしたり、部活でしかなかかなか出来ないことも経験できて、3年間とても充実していて楽しかったです。3年生は家庭部として最後の作品づくりを行い、例年通り東高祭で展示することを予定しています。無事に東高祭が開催でき、多くの人に作品を見てもらえるよう願っています。(3年4組 石田 あゆみ)

家庭

家庭部 保護者message

入学して、新しくできた友達と一緒に家庭部に入部しました。週1回の活動でしたが、お菓子やお昼ごはんを作って、楽しく過ごしていました。自分たちが部を引っ張る立場になって、時には悩むこともありましたが、先生方や友達と考え、解決していったようです。あっという間の3年間でしたが、先生や友達との出会いで充実の3年間だったと思います。ありがとうございました。(保護者)



邦楽部 部長message

私達は去年新体制になって様々な場所で演奏させていただきました。中でも年に一度ある県大会に向けての練習に力を注ぎました。県大会は近畿や全国の大会につながる重要なもので、1年かけて完成に近づけてきました。部員全員で改善に取り組み、今年も必ず近畿に行くこと決めました。大会中止は無念ですが、仲間と切磋琢磨した日々は宝物です。(3年3組 高嶋 香乃)



邦楽

邦楽部 保護者message

3年間、良く頑張りました。特にこの1年間は、部長として活動し、不慣れなため至らない点多々あったのではと思いますが、部員の皆さんや顧問の先生方に支えていただき無事に終えることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。(高嶋 香乃の母)



放送



放送部 部長message

放送部は少ないながらも全国大会に向けて日々発声練習や作品作りをがんばってきました。和気あいあいとした部の雰囲気が大好きで、部員みんなで行きたいと思っていた全国大会がなくなってしまい、とても残念でしたが、大会に向けて全力でがんばるという一生忘れられない思い出が出来たと思います。ありがとうございました。(3年3組 坂本 実恵)

放送部 保護者message

入学前から希望していた放送部に入部し、発声の基礎練習から始めました。東高祭や大会の前には自宅でも練習をして臨んだようです。また、映像製作をする際は、作家の方等にインタビューさせていただいたり様々な経験を積みました。ここまでやり遂げることができたのは、ご指導いただいた顧問の先生、支えてくださった皆さんのお陰によるものと感謝しています。(保護者 坂本 佳代子)



至高のとき・その2は
— 部活を通して — 次号に!



新テストへの移行と、新型コロナウイルスによる混乱の影響を同時にうける今年の受験生の不安と憤りは、私の想像を超えるものだと思いますが、何らかのきっかけになれば幸いです。

ここでは、進路・受験に関して、皆さんに考えてほしいことを伝えようと思います。

まず、ほんとうに大学に行くのか。大学は就職予備校でも人生の夏休みでもありません。数百万払って学問・研究をするところです。自分がどんな大人になりたいのかを想像して、その過程に進学の必要性がないのなら、進学などやめてしまおう。時間と大金をかけてモラトリアムを得るくらいなら、今すぐ行動しよう。今の時代、どうやら大学でしかできないこ

とは意外と少ないらしい。

次に、どの大学に進学するか。特別な理由・制限のない限り、できるだけ偏差値の高い大学を選ぶべきだと思います。環境、意識が段違い。自身がしうる最大の努力でやっと入れる大学の学生、教授は、自分にとって自己研鑽の強力な誘因になります。ただ、どんな環境にせよ、全ては自分の行動次第でどうにでもなることは、来年3月まで意識しておいてください。

最後に、受験勉強について。自身の能力を高めるという点では、部活も勉強も同じであることを強く意識してほしいです。3年間の部活動で獲得した自分だけの能力向上法(?)を、勉強にも応用できること(逆も然り)が、本当の文武両道ではないのかなと思います。

大学での学問はとても面白いです。期待してください。辛くても、苦しくても、なにくそ負けるものか! 泣きながら頑張れ!

健康・生活部 Column

〈「夢実現」

あきらめずに進む人生を〉

「ようこそ鳥取東高へ」という校長先生の熱い言葉を受けた入学式から、あっという間に卒業式を迎えました。部活と勉強との両立に悩みながらも、一生つき合っていける友だちとの出会い、大好きな先生との出会い、部活動での経験、恩師との別れ…様々な経験をする中で「夢実現」に向かって進んだ3年間でした。私はPTA活動で2年間健康・生活部にたずさわり、食育を学び、東高祭で保護者の模擬店で「いただき」を作ったことはとても良い思い出です。すべてに全力なのが東高生。この3年間の経験を糧に、これから目の前に壁が立ち始めた時、東高卒業生としての自信と誇りを持って立ち向かってほしいと思っています。「夢実現」に向けて頑張った経験があるからこそ、きっとこれから先もあきらめることなく進む人生を歩んでいけると信じています。(文/松川 容子)



親子の話に花が咲く話題の1つ

に、音楽の話があります。新たに発見した歌を聞かせてくれ、コメントを求めるうちの娘。今や飛ぶ鳥をおとす勢い「Official髭男dism (ヒゲダン)」も早々と見つけ教えてくれて以来、親子ではまっています。ヒゲダンの歌には「価値観の違いや衝突も含め、あるがままに認め、受け止める」といった内容が多くみられます。今年の2月にリリースされた「I LOVE…」はドラマの主題歌として書き下ろされたラブソングですが、友人、家族、ペット、性別の対象を問わず広義の「愛」を象徴したMVとなっています。奥が深い歌だなあ、いつも思いながら聴き入っています。

機会があればMVを見てみてくださいね!

〈人権コラム「虹のしっぽ」について〉

虹にしっぽなんてあるわけないと決めつけないで…。もしもあるなら見つけてみたい。考えるだけで楽しい気分になりませんか?

鳥取東高 100年の歴史を残す

～ 校史資料提供のお願い ～

本校は2022年、学校創立百周年を迎えます。その記念事業の一環として、校史編纂を計画しております。皆様の鳥取二中・東高時代の学校生活及び部活動等に関する資料、写真や情報をお持ちの方、ご提供いただけるものがありましたら、記念事業実行委員会までご連絡ください。大変ありがたく思います。

〒680-0061
鳥取県鳥取市立川町5丁目210
鳥取県立鳥取東高等学校 内
鳥取東高 創立百周年
記念事業実行委員会 記念誌部会
TEL: 0857-22-8495
FAX: 0857-22-8497
E-mail: torie-h@mailk.torikyo.ed.jp

取材当日は、隣の邦楽部の琴の色が一躍買って美味しく、おもてなしのお茶を五感で堪能できたように思えた。毎週月曜日、研修館にて活動が行われている。

(取材・文/PTA文化広報部長 山本 賢璋)



部員募集中である!

東高茶道部の魅力!



現在、加藤宗紀師範のご指導のもと、二名の生徒が活動している。遡ると、初代校長林重浩先生が小堀遠州の理念を取り入れたこの思いから創部されたとのことで、その歴史は古い。

開祖の小堀政一は徳川家茶道指南役であり、他にも建築家・作家の顔を持つ。小堀遠州の神髄は「わび・さび」に「綺麗さび」を重ねる。「綺麗さび」とは客観性のある美・調和の美を追求することを表す。茶道では「格より入り格より出る」、「主人は客の心になれ、客は主人の心になれ」とあり、忠実な実践と創意工夫の精神を持ち相手の立場に立って物を考える思いやりの心を「茶の湯の心」と呼ぶ。無駄のない手の運び方をすることで如何にして綺麗に見えるか、そして如何にしておもてなしするかを要とする。

進路部から保護者の皆さまへ



進路部長

矢部 敦子

2019年度進路状況の概要

進学については、鳥取大学の55名をはじめとする国公立大学172名(前年度155名)、私立大学328名(同345名)、短大15名(同21名)、専修学校等43名(同63名)という合格者数でした。難関国立大学については、京都大学2名、

2019年度入試合格者内訳

		3年	既卒	計	
卒業生数		276			
延合格者数		385	173	558	
内訳	大 学	国 立	97	28	125
		公 立	43	4	47
		私 立	197	131	328
	短 大	13	2	15	
	専修学校等	35	8	43	

九州大学2名でしたが、うち現役は京都大学1名にとどまり、厳しい結果でした。一方で、最後まで5(6)教科に取り組んだ生徒が多く、地方国公立大学の合格者数を伸ばしました。現役の国公立大学合格率(合格者数/卒業生数)も5割を超え、過去最高と言ってよい成績でした。

私立大学については近年合格者の絞り込みが厳しくなり、特に都市圏の私立大学は現役合格が難しくなっていました。本校の結果も龍谷大学が前年度より合格者数を伸ばしましたが、それ以外の主な私立大では合格者数を伸ばすことができず、厳しい結果となりました。

短期大学合格者のうち8名が地元の鳥取短大。その他はほぼ近畿圏と中国圏の短大です。近年は、4年制への移行が散見されます。専修学校・各種学校については、看護・医療系への進学が大半です。

就職者は8名おり、公務員7名、民間1名でした。公務員の内訳は、自衛隊、鳥取県職、鳥取市職、鳥取県警察2名、鳥取県警事務、消防(鳥取)でした。公務員、民間ともに授業への取り組みを大切にしながら、意欲的に問題集や適性検査、作文、面接練習に取り組んでくれた成果だと思います。

主な大学合格者内訳

国公立大学(172名)					
金沢大	2	広島大	3	兵庫県立大	1
千葉大	1	山口大	3	神戸市外国語大	1
東京学芸大	1	香川大	2	鳥取環境大	7
京都大	2	愛媛大	4	島根県立大	4
大阪教育大	5	九州大	2	岡山県立大	2
鳥取大	55	京都府立大	1	県立広島大	5
島根大	19	大阪市立大	1	広島市立大	2
岡山大	13	大阪府立大	1	その他の国公立大学	35

私立大学(328名)					
慶応大	1	京都産業大	17	近畿大	19
日本大	3	立命館大	8	関西学院大	6
明治大	3	龍谷大	30	鳥取看護大	5
早稲田大	1	関西大	6	その他の私立大学	229

今年度の進路部担当教職員

- 第1学年 …… 田中 健太(1年4組担任)、山口 優介(1年6組担任)
- 第2学年 …… 菅生 涼子(2年4組担任)、栗原 崇(2年7組担任)
- 第3学年 …… 富林 紀之(3年3組担任)、松下 奈弥(3年4組担任)
- 進路部専任 …… 安治誠一郎(主幹教諭)、矢部 敦子(進路部長)、秦野 大樹(就職)、深田 英吾(情報)、高垣 育樹(就職)、圓井 恵子(庶務)

今年度、進路を担当する教職員をお知らせいたします。

何かお尋ねになりたいことがありましたら、ご連絡をいただければと思います。



進路実現に向けた夏季休業期間の過ごし方

今年度は新型コロナウイルスの影響で1学期を通常にスタートさせることができませんでした。4月下旬に臨時休業、5月は2週間強の期間で分散登校となり、新しいクラスでの仲間作りに苦労した生徒さんも多いと思います。ご家庭では自宅でのお子様の様子にやきもきさせられたこともあったのではないかと思います。また、授業回数が少なかったため学力や進度への不安もお感じになられていると思います。現状では、進度につきましては例年と比べ、さほど遅れをとっているわけではありません。ですからその部分をご安心ください。ですが、現在の問題として一番大きいのは、この時期には本来ついていなければならない「学習習慣」、長時間机に向かうことのできる「学習体力」がついていない生徒が多い、ということです。特に1年生は高校生になり切れていないお子さまが例年より多いように思います。これは4月からの出来事を考えれば致し方ない結果とも言えます。この状況をふまえ、この夏をどのように過ごすべきか以下に述べます。

1年生: ①3点固定(起床時間・自宅学習を開始する時間・就寝時間)に努めてほしい。

②スマートフォンとの付き合い方を家庭内で決めていただきたい。使用時間は1時間以内で、夜9時以降は保護者が預かるなどルールを決めてください。

③1学期の授業内容をしっかり復習し、夏休みの課題に早めに取り組みしましょう。

④9月には文理選択がありますので、自分の興味関心がどこに向いているのか探ってみましょう。そのために、読書や新聞を読むなどしてみてほしいです。

2年生: ①・②・③は、1年生と同じです。

④9月になるとよいよ受験生になりましょう、という話が出てきます。志望を決めていかなければなりません。オープンキャンパスに行くことは今年は難しいでしょうから、できるだけweb上で大学を調べてみてください。

⑤志望校がある人はぜひその大学の入試問題を解き、どのレベルまで自分が到達しなければならないか知りましょう。

3年生: ①は、やはり1・2年生と同じです。つまりこれが最も重要といえます。生活リズムを崩しては、学力はつかないと思ってください。

②学習では弱点科目の補強、理科、地歴の完成を目指しましょう。弱点科目は基礎力を確認してください。つまり、教科書に出てくる内容が理解できているかです。夏休み中に基礎を完成させることができれば、2学期をスムーズに送れます。

③志望校の入試科目を研究しましょう。

④1日10時間は最低でも学習に取り組んでください。

以上、各学年で簡単に過ごし方を述べさせていただきました。短い夏季休業ではありますが、取り組みによっては大きく成果を残すことが可能です。良い目標を持ってぜひ頑張ってくださいと思います。また、保護者の皆さまにおかれましてはこの期間を利用してぜひお子さまと進路について話をしてください。一緒に考えていただき、お子さまの進路実現に向けて応援をしていただければと思います。



東高に入学して

一年七組 山本 誠晴
あのとでも緊張した合格発表からもう三ヶ月が経ちました。その時僕は高校生活をとても楽しみに待っていました。

入学して最初に先輩方と出会ったのは対面式でした。対面式での代表の先輩方がコントを僕たちに披露していただいていたのも面白かったことが印象的でした。

高校生となって、勉強が難しくなりました。そして進むスピードが早い授業も多くありますが、これからは中学生だった頃の勉強の仕方ではついていけないかもしれないですね。なので、少しずつでも予習、復習を大切にして勉強をしていきたいと思っています。

入学して最初のイベントである遠足がコロナウイルスの影響でなくなりました。僕ははとでも悲しかったんです。またコロナウイルスの影響で入学当初はあまり部活動もできず、先輩方の試合をするかっこいい姿を見ることもできず残念でした。

さらに、感染症対策のため分散登校になり、クラスの半分の人にしか関わることがなく、コロナウイルスの影響で普通の学校生活を送ることができませんでした。

しかし、コロナウイルスの影響でいやなこととはたくさんありましたが、最近では部活動が少しずつできるようになり筋肉痛で僕自身は辛いこともあまりありません。楽しいです。また友達も少しずつ増えていきました。

僕は今の今までになかった経験をしたい良いことも悪いこともありました。しかし「コロナウイルスのせいでは」と

言っている場合ではありません。僕はこれからの高校生活で自分のやりたいことをしっかりと決めていきたいです。高校生活を充実させて「一年生の頃はこのようなことがあったな」と笑い話にできると嬉しいですね。

この東高に入学して

一年七組 倉益佳乃子
目標であった鳥取東高校に入学してから、早くも三ヶ月が過ぎた。最初は不安な事が多かったが、新しい生活にも徐々に慣れ始め、楽しいと感じる事も多かったです。

私が入学当初、いちばん不安に感じていた事は人間関係についてだ。私は昔から人見知り自分から話し掛ける事が苦手だからだ。しかし、こんな自分も話し掛けてくれる人がおり、少しずつだが交友関係を広げる事ができていた。これからの良い関係を築いていけたらと思う。また、授業内容も難しくなり、付いて行くのが大変だと感じる事も多くある。一年のこの時期から学習のサイクルを身に付ける事が大事だと思うので、日々の学習に意欲的に取り組んで行きたい。

逆に、今いちばん楽しいと感じる事は部活動である。楽しい仲間や優しい先輩方に恵まれ、中学の頃から続けている大好きな弓道ができる環境は、私にとって大切な場所である。これからも日々の練習に真剣に取り組む、部活動を通して様々な事を学んで、肉体的にも精神的にも成長していきたいと思う。

東高に入学して

一年保護者 田中 顕治
新型コロナウイルス感染拡大防止のため皆がマスクを着用して、新入生と保護者、先生のみで行われた入学式。見慣れた光景とは勝手の違う様子で始まりました。

この新入生は、三年生になる時には学校創立百周年を迎える生徒だということも知りました。また、民法の改正によ

り成人年齢が二十歳から十八歳に引き下げられる生徒たちです。いろいろな世の中が変化していく節目にあたる生徒たちが、これからの三年間、何気なく過ごすのではなく目標を見つけて、その目標に近づけるよう学校において、楽しく学業、運動等に、励んでもらいたいと思います。

また、中学生の時とは違っていろいろな所から生徒さんが来ているので、友達との輪も広がります。たくさん刺激を受け、友達の良い所を真似したり、時には友達と将来について語り合ったりしながら、学校生活を有意義に過ごし、自分の目指すところに進んで行って欲しいです。

最後に、冒頭にも書きましたが、創立百周年記念の卒業生となるので、いろんなイベントがあると思います。三年後の卒業式の時に、この学校に入学できて良かった、楽しかったというように思い出をたくさん作ってくれたらいいなと思います。

曲がらぬ信念

一年保護者 西原 裕

まさか本当に合格するとは……
中学三年一月の時点でも、東高を受けるのは無謀だと思われていた息子。落ちては良いから東高を受ける！と決めていたが、いつから目標にしていたんだろ。

小学生の時から始めた柔道、自分から突然柔道がしたいと言ってきた驚いた覚えがある。

彼は凝り性なところがあり、ハマったら一人で本に集中する。夏休みになるから一人で自転車漕いでほぼ毎日鳥取市武道館に通っていた時もあったほど。自転車に乗り始めた時も、毎日一人で自転車乗り回していた。

ハマってしまった柔道で仲良くしてもらった先輩達のほとんどがこの学校にいる、そして良くしていただいた先生が居た。

何度も進路変更を迫られても諦めず、先輩、先生のもとに行くため必死になり見事貫いた信念。
次の目標は何か知らないが、この先も貫いてほしい。

決意・決断・準備

一年保護者 松本 和志

「このままでは東高に合格することは難しいです。」

中学校の担任の先生からドキッとすることを伝えられ、息子の見守り方が間違っていたのではないかと苦悩した受験前の冬。本人に思いを聞いてみると、「絶対に東高に行き、サッカーがしたい。」と決意している様子。しかし、受験に向けた準備が十分なのかと言えば、テストの成績が東高受験レベルに達しておらず、その数字が東高合格に向けた決意の低さ、準備の足りなさを物語っており、息子もその事実を受け入れた。

そこから息子は人が変わったように勉強を重ね、みるみる学力が伸び、それでも先生からは「五分五分です。」と言われたが、自ら受験を決断し、この春、見事に自らの決意を叶えたのである。

決意とは、いつも持つておくもの。決断とは、決意を実行すること。準備とは、決断したことを実行できる状態にしておくこと。つまり、決意があっても準備が足りなければ、決断しても実行できない。この教訓を胸に刻み、輝かしい高校生活、人生を謳歌してほしいものである。

東雲橋の桜に想う

一年保護者 西根 美奈

娘の入学を機に、私は四半世紀の時を経て再び東高の門をくぐる事ができました。校舎の改修工事のため、三年生の一年間をプレハブ校舎で過ごした事もあり、校内の様子はすっかり変わっているもの、毎日ゲラゲラと大笑いしながら駆け抜けていた廊下は昔のままそこにあつて懐かしいとはちょっと違う、まるで自分が入学したかのようなワクワク感で満たされていたのです。

一年生の時、教育実習にやつてきた先生方と過ごした数週間は、私に強烈なインパクトを与えました。都会で大学生活への憧れ、そして何より教師という職業を目指すきっかけとなる出会いとなったのです。私の夢は志半ばで叶うことはありませんでしたが、情熱を持つ

て夢にチャレンジした事を今でも後悔していません。時は巡って、その当時の先生に娘の学年を受け持っていたこととなり、やはり人との出会いは必然であると思わずにはいられないのです。東高生の皆さん、今の一瞬、一瞬をその若い感性をフル稼働して大切に過ごしてください。これから出会う人や経験する物事は必ず皆さんの生きる力となるでしょう。ちよっぴり大きな先輩として、応援しています！

大人になっていくわが子へ

一年保護者

「自分の人生、やるのもやらぬのも自身の判断という思いから、貴方に勉強を促すよう促すことはあまりありませんでしたが、打ち込んでいる部活や将来のことを考え、自分で「東高進学」を決め努力して入学したこと、正直感心しています。

新型コロナウイルスの影響で登校できない時期もありましたが、入学して三ヶ月、思春期らしく？貴方は親の言うことには反応が薄く、ある意味かわいげのない態度をとったりも、部活の先輩の言うことは素直に受け入れ取り組んでいうようです。そこにはやはり憧れや信頼があるのでしょうね。そういう自身の繋がりに、人脈・情報を得てさらなる成長を続けていってほしいと願っています。

貴方たち兄弟には小さいときから、「他人との縁を大切に」と伝えてきました。私は、生きる喜びは「他人」に立つことだと思っています。「他人」とは「自分以外」という意味です。もちろん「自分が幸せ」であることが基本ですが、自分が他人にどう役に立っているのか？喜んでもらえるのか？を考えられる人になってほしいと思います。

最後になりましたが、入学おめでとー！いろいろな経験をして有意義な三年間にしててください。

鳥取東高通信187号に写真、原稿等で協力いただいたみなさまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。
文化広報部一同